

# 建設の施工企画

2006年7月号 No.677

## 目次

### 防災特集

1	グラビア	平成18年豪雪（新潟県十日町地区）写真提供・井口正栄	
3	巻頭言	広重に見る江戸のハードとソフトの防災	竹村公太郎
4		近年の自然災害への対応と建設機械	
		社団法人日本建設機械化協会研究調査部・施工技術総合研究所	
10	トピックス	建設機械等による災害対処・復旧支援に関する懇談会設置	
		国土交通省総合政策局建設施工企画課・社団法人日本建設機械化協会研究調査部	
11		福岡県警固断層の地下構造調査—地震災害の軽減に役立つ地下構造の可視化—	
		宮下由香里・木口 努・加野 直巳	
16		振動台による粒状改良土の耐液状化抵抗性能の確認実験	中山 隆弘・早坂 佑
21		社団法人日本建設機械化協会の支援体制と取り組み	
		社団法人日本建設機械化協会研究調査部	
26		衛星情報による災害解析手法	原 政直
31		事業継続計画（Business Continuity Plans）概論	
		一企業の危機発生時の不測事態対応計画—	松井 一洋
36		災害時における首都圏の港湾物流・人流機能確保のための	
		協働体制構築に向けた取り組み	福西 謙・立野 雅人・安原 晃
41	ずいそう	「感動」のかけら	永田 隆
42	ずいそう	少林寺拳法との出会い—そして今—	佐藤 芳邦
43	JCMA 報告	ISO/TC 127/CAG（議長諮問グループ）会議および	
		ISO/TC 127/WG 6（公道走行要求事項）会議出席報告	標準部会
46	CMI 報告	セメントで固めた砂礫（CSG）の破壊エネルギー試験	
		日向 正・柴藤 勝也	
48	新工法紹介		広報部会 (2006年4月)
50	新機種紹介		広報部会
55	統計	平成18年度建設投資見通しの概要／ 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	59 行事一覧 (2006年5月) 62 編集後記 (吉村・村上)

#### ◇表紙写真説明◇

名所江戸百景 よし原  
出典：国立国会図書館所蔵

歌川広重は、幕府の定火消同心という武家の子供として生まれた。15歳で浮世絵師歌川豊広に弟子入りして、63歳で没するまで歌川広重の画号で活躍した。この「よし原日本堤」は広重が亡くなる直前の2年間を費やして描かれた「名所江戸百景」の中に収録されているも

のである。

夕方、鳥の群がねぐらに飛んでいくところ、ぞろぞろと吉原遊郭へ向かう男たちを描いている。初めてこの絵を見た時、男たちが歩いていく堤防の存在感に、私は目を奪われてしまったことを思い出す。その感動が、巻頭言の文になっていった。

私にとって、広重の絵は江戸を教えてくれる写真でもあるが、江戸市民の生活を豊かに想像させてくれる幻想絵でもある。

(本誌3ページ参照)